

# 平成23年度 事業評価（事業活動記録）

事業No. 198

政策体系	41	事業分類	ソフト事業	所管部局	市民部 市民課
会計	一般会計	科目	3. 民生費 - 1. 社会福 - 2. 地域セ 現年		
事業名	地域交流活性化支援事業				
細事業名	北部コミュニティーセンター地域交流活性化支援事業				
				評価表作成者	市民福祉部 市民課 今西 良匡

## 1. 事業の概要

市民のニーズや動向を的確に判断し、講座の開設及び文化祭を通して、地域文化を継承。

## 2. 事業の目的と必要性

### ①施策で目指す目標との関連付け

地域及び周辺地域の住民の社会的、経済的、文化的向上を図り、生活上の課題やさまざまな人権課題の解決に資するために講座の開設や文化祭の開催。

### ②事業を実施する必要性

地域及び周辺地域の住民の社会的、経済的、文化的向上と人権問題の早期解決のために必要。

## 3. 事業費の推移

	単位	平19決算	平20決算	平21決算	平22決算	平23予算	平24計画	平25計画
決算額または計画額	千円	542	521	537	602	735	604	604
うち一般職・嘱託職・臨時職の給与および共済費等	千円	0	0	0	0	0	0	0
財源内訳	使用料・手数料等	千円	0	11	25	29	45	37
	国・府支出金	千円	0	180	255	287	308	255
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	542	330	257	286	382	312
職員等の従事人員	人/年	—	0.30	0.13	0.30			
人件費	千円	—	1,016	1,092	1,228			
事業費総額	千円	—	1,537	1,629	1,830			

※事業費を要しない場合は「0」、事業を実施しない場合は「空白」で表示。  
 ※千円未満を四捨五入し表示しているため、合計等が一致しない場合がある。

## 4. 主な事業費の内訳

講座開催事業	305,000円（報償費）
	6,737円（消耗品等）
文化祭開催	70,000円（報償費）
	220,247円（消耗品等）

## 5. 事業結果の概要

地域力活用事業	第21回木崎町文化祭の実施		
	展示作品 約300点	発表団体 10団体	来場者延べ500人
文化スポーツ交流事業	4講座61回実施		
	短歌教室	12回	延べ73人
	手芸・編物教室	24回	延べ77人
	健康教室	24回	延べ263人
	茶の間の会	1回	24人

## 6. 活動の詳細

<b>(1) 地域力活用事業</b>		
第21回木崎町文化祭 文化祭を通じて、各地域の文化の発表や展示を行い、交流を深めるため。ステージ発表・作品展示・子ども工作教室	平成22年11月21日（日）	ステージ発表や作品展示、子ども工作教室などを行ったことにより、地元及び周辺地域の交流が深まり、人権意識の高揚につながった。 展示作品 約300点 発表団体 10団体 来場者 延べ500人
<b>(2) 文化スポーツ交流事業</b>		
短歌教室 短歌の作成方法、ポイント紹介及び作品の添削	毎月第3金曜日	短歌を通じて教養・文化の向上を図るとともに、交流を深めた。年間12回 延べ73人
手芸・編物教室 手芸・編物技術の習得	毎月第1・3火曜日	手芸・編物を通じて強調・文化の向上を図るとともに、交流を深めた。年間24回 延べ77人
健康教室 健康体操の習得	毎月第2・4金曜日	健康体操を通じて健康に対する意識の高揚を図るとともに、交流を深めた。年間24回 延べ263人
茶の間の会 児童・生徒を持つ保護者間の交流促進（お菓子作り）	平成22年12月11日	クリスマスのお菓子作りを通じて、親子の交流や保護者間の交流が図れた。 24名参加

## 7. 所属長評価 [平成20年度から改善した点、今後の展開など]

住民のニーズにあった交流促進講座を開催した。今後は文化センター運営審議会の審議内容等により事業展開をはかる。

### 【参考】過年度の評価

#### ■平成22年度の所属長評価

交流促進講座の開設等、館長会議を中心に議論し今年度設置された文化センター運営審議会の審議内容により今後の展開を図る。

#### ■平成21年度の所属長評価

- ①有効性・効率性を向上させるため、担当職員と議論を重ねた点  
交流促進講座の今後の方向性について会議を行った。
- ②当該事業のアピール事項  
講座を通じて人権問題解決の早期解決に努めた。
- ③反省点、今後の展開・方向性等  
住民のニーズにあった講座の広域的な展開が必要である。